

宮沢地区公民館だより



令和 5年 11月 1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX 22-0433

10/13(金) みやさわ・みやざわ交流グランドゴルフ大会 (徳良湖畔)

久しぶりですね、やったー！



ようやく会えたね。4年ぶりだ。39名が結集。尾花沢市宮沢地区三浦会長から、「山形と宮城の県境にある翁山の白髪老人が、皆さんの再会を喜び、今日の朝日と青空を準備してくれた。充分楽しんで下さい」と歓迎のあいさつを行った。横沢副市長から、「ようこそ、尾花沢市へ。明後日は、徳良湖温泉前で新そばまつりを開催します。冬は、雪遊び、夏は、すいか、徳良湖畔でキャンプ。また、お越してください。」と来賓のあいさつを戴いた。各4名の8班に分かれてプレーボール。大崎市の皆さんは、学校のグランドで練習しているため、徳良湖畔の芝の傾斜に悪戦苦闘。それでも、「右に打てえー」「1回で入った」「嘘だべえ」。尾花沢市宮沢のTさんは、グランドゴルフシーズン券を買い、朝練習も時々とか。成績は、1~2位は尾花沢。3~5位は大崎市。BB賞は尾花沢。声を掛け合い、和気あいあいのプレーを楽しんだ。午後から、花笠の湯で昼食と懇親会。余興は、大崎市から「花笠踊り」の披露。尾花沢市女性の会から「愛の里宮沢」。即興で「ああ人生に涙あり(水戸黄門の主題曲)」を披露。来年は友好宣言から20年になるので、記念に翁山登山とか楽しい企画ができるといいねえ。と、再会を約束して閉会した。

お見事(尾花沢) ホールインワン賞

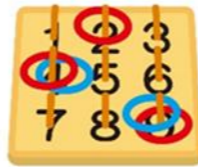
- ・大貫信生さん(中刈)
- ・高橋ユキ子さん(正厳)



老人クラブの輪投げ大会 & 歴史講演会

笑いと運動で免疫力を高め、健康を維持するため老人クラブ主催の輪投げ大会と歴史保存会主催の歴史講演会を同時開催します。

- 1、とき 12月5日(火)
- 2、ところ 尾花沢市地域交流センター
- 3、内容 8時50分 輪投げ大会(老人クラブ対象)
10時45分 歴史講演会の受付、55分から講演開始~12時まで
「宮沢の人の戦中、戦後をたどる」… 平和の尊さを訴える
宮沢地区歴史保存会 顧問 三浦幹雄さん(中島)
宮沢地区公民館だより「宮沢と満州」連載中。宮沢中学校30周年記念誌(昭和58年1月発行)の編集委員や当時のPTA会長。宮沢中学校創立50周年記念誌「三吉原」『宮沢の歴史と教育』(平成15年5月発行)の編集副部長や当時の同窓会長。尾花沢市の「尾花沢市史(下巻)」(平成22年2月発行)の執筆も担当。
- 4、申込 輪投げ大会(各老人クラブ役員まで)、歴史講演会のみ(宮沢地区公民館まで)



空き校舎の利活用、合同研修会の開催(区長会・防犯・公民館連絡員)

令和9年4月に市内1校の統合小学校開校の予定で、現在、土地所有者への説明や設計、法的手続き等が進められています。現在の小学校は、令和9年3月末に閉校となりますので、今後、地域の現状を踏まえて、地域の更なる発展につながるよう空き校舎の利活用の検討が課題となります。そこで、今回は、遊佐町役場の空き校舎利活用基本計画策定(令和5年1月)について、考慮した様々な課題を研修してきます。

1. とき 11月29日(水)朝8時~17時予定
 2. 行先 遊佐町役場、空き校舎の利活用
- ※ 近日中、参加の案内を郵送しますので予定をお願いします。



高齢者の交通事故防止推進強化旬間

11月1日(水)~11月10日(金)

反射材が、夜のあなたを守ります

- ① 夕暮れからの外出は、目立つ明るい色の衣服と夜光反射材の着用
- ② 道路横断時は、開始時と横断中の2度確認を徹底

今月の
パッチワーク教室の日程
毎週木曜日 9:00~15:00

11月 9・16(研修会)・
22・30日

場所：宮沢地区公民館



はなみずき ヨガ教室

11月8日(水) / 11月22日(水)

- 時間：10:00~11:00
- 場所：尾花沢市地域交流センター
- 参加費：500円
- 持ち物：ヨガマット
(なければバスタオル)



尾花沢市青少年健全育成市民集会

11月12日(日)午後1時30分~3時
サルナート「コンベンションホール」無料

講演 「継続は力なり~自分のペースで~」
講師 北京五輪2022 バイアスロン競技
日本代表 尾崎 光輔 氏

※申込 11/9(木)17時まで
問合せ：社会教育課 中央公民館 TEL23-3332まで

【11月の行事予定】

日	内容
1日(水)	宮沢地区グラウンドゴルフ大会
14日(火)	さわやかあいさつ運動
15日(水)	おきな茶屋
21日(火)	宮沢地区区長会

宮沢地区の人口と世帯

(10/1現在)(前月比)
男 789人(-4)
女 773人(-3)
計 1562人(-7)
世帯数 579世帯(-1)



交通安全功労表彰 県交通安全県民大会 10月19日(山形市)、
 県警察本部長・県交通安全協会会長の連名で表彰状が送られました。
 おめでとうございます。



交通安全協会役員として、功労が特に顕著・・・本間長三郎さん(写真、左から)
 安全運転を心掛け、人格・技能とも優れ、他の運転手の模範・・・吉田清一さん
 阿部健一さん

10月19日(木)おきな茶屋で運動会

チーム一丸となって!!

おきな茶屋でうさぎ、きりん、いぬ、りすの4チームに分かれて、元気に行進して、運動会が行われた。最初にボールを後ろの方に順番に送り、後ろから前に戻す競技。スタート「早く、前に戻して。」言葉飛び交いながら頑張っていました。スプーンでピンポン玉送りやパン食い競争。あんぱんをパクリとゴール。最後に玉入れ、各チーム200個近く入れ、数えるのが大変でした。みんな笑いながら、「楽しいね。」と喜んでいました。また、11月15日(水)会いましょう。



5つの宝、宮沢地区は、芭蕉を体験

市内小学校の5～6年生を対象に、尾花沢市のそれぞれの地域の魅力と歴史を学ぶ「F-Tスクール」が5地区で10月2日と17日の2回開催された。宮沢地区の参加児童は、羽織や脚絆、こて等、芭蕉と曾良の衣装に身を包んだ。峠名は、山仕事の際にかぶった「なたぎり」という冠り物の形に似ていることに由来するとおり、曲がりくねった山道でブナ林の急斜面を歩いた。山頂に着き、一句。「山の中 芭蕉と同じ 道歩む」「晴れや雨 しずかな山の なたぎりとうげ」「山の中 ばしょうのかっこう あつすぎる」。今回の企画は、市教育指導室が主催し、宮沢地区歴史保存会が主体となり協力した。



自然を守り、育てる

(三吉原樹木園整備事業)

三吉原樹木園の会は、宮沢小学校グラウンドの東側の天子塚からの遊歩道を毎年草刈りや樹木の整備、桜の木を植栽してきました。今回、地権者の協力を得て遊歩道から山崎水門までの未整備の道の支障木を一部伐採の整備を行いました。

今後は、桜の木を植栽する予定で地域のみなさんに自然環境の保全と樹木の果たす役割の重要性の周知活動を行います。



市民文化祭や地域の作品展を鑑賞しながら、スタンプを集めて景品に応募しよう!

芭蕉、清風歴史資料館・・・11月3日～2月25日
 (11月3日のみ無料開放)

市民文化祭・・・11月 3日～ 5日
 常盤地区公民館・・・11月10日～12日
 尾花沢地区公民館・・・11月17日～19日
 福原地区公民館・・・11月29日～12月3日
 玉野地区公民館・・・12月 2日～ 5日
 宮沢地区公民館・・・ 2月23日～25日

宮沢と満州(6) 石山、加藤、中原が爆弾を抱え戦車に飛び込んだ特攻隊

石山さんの手記は続く、昭和20年3月には吉林省の関東軍直属の機動部隊に現役入隊した。そしてソ満国境警備に当たる。8月8日深夜、激しい飛行機の爆音に驚いた。中隊からソ連軍の侵攻と聞き、翌朝国境を眺めるとソ連の戦車と兵を満載したトラックが続々と南下している。ソ連は日ソ不可侵条約を一方的に破棄して侵攻したのである。

石山さん達に命令されたのは十キロ爆弾(磁石式破甲爆薬結束手榴弾)を抱えて戦車に飛び込む「特攻」である。8月中3回攻撃した。1回目は失敗、2回目は見事に戦車の左キヤタピラを吹き飛ばし、戦車を側溝に転落させる戦果を挙げ大隊の評判となった。3回目は破裂したが効果なし。ソ連のおびただしい戦車群に兵士が命を捨てて飛び込んだとて戦争の大勢に何ら痛手を与えられない事は司令部でも承知のはず、人命軽視も甚だしい命令である。

太平洋戦争末期、飛行機もろとも戦艦に体当たりする日本の特攻隊は有名だが、ソ連戦車に爆弾を抱えて飛び込む「陸の特攻」もあったのである。

石山さんはその後ソ連に抑留された。そしてある日、召集されて関東軍に所属しソ連に捕虜となっていた丹生の加藤真十郎さん(加藤宗夫さん父)と偶然出会った。異国で同郷人と会うくらい嬉しい事はないと記している。私が宮沢地区公民館だよりの「この人この道」欄の取材で木工品作りに打ち込む加藤さんからインタビューした時があった。加藤さんも石山さん同じ10キロ爆弾を抱えて戦車に飛び込む「特攻」をしたが、不発で九死に一生を得たと語っておられた。また、後述するが中島の中原光夫さんも、開拓団として満州に入植したが終戦前年に軍隊に現地召集された。そして侵攻して来たソ連の戦車に加藤、石山さん同様爆弾を抱えて特攻したと私に話された。幸い三人とも命拾いをしたが、兵士を消耗品と見た軍首脳の無謀な作戦により如何に多くの戦死者を出した事か。あまりにも惨い作戦である。敗戦とともに石山、加藤、中原さん等はソ連軍の捕虜となり地獄の体験をする。また石山さんはシベリヤや中央アジアを転々と移動させられ辛苦の末、ようやく昭和24年、長兄が戦死した関谷の我が家に帰った。そして結婚し晩年は高橋小、宮沢中の「ふるさと学習」の講師を務められ、子どもたちに菊栽培、民芸品作りなどを指導なされたが平成20年1月82歳で永眠なされた。



ソ連軍戦車



昭和20年8月9日ソ連軍が突如満州に侵攻 (1億人の昭和史より 毎日新聞社)

ソ連軍の満州侵攻時の日本軍との戦力

	日本軍	ソ連軍
兵員数	39万他義勇軍	169万人
戦車	800両	3400両
航空機	280機	1900機

